

住みたい下呂市 住みよい下呂市の実現に向けて

下呂市長
野村 誠



明けましておめでとうござい
ます。

市民の皆さまには、平成28年の
迎春を夢と希望をもってお迎えの
ことと存じます。

昨年は、長年の懸案でありまし
た新クリーンセンター建設につき
まして、地元の皆さまの苦渋の選
択により、来年度、着工すること
となりました。ご理解、ご協力の
いただいた皆さまに改めてお礼を申
し上げます。

また、庁舎・振興事務所の耐震
化等につきましては、市民の皆さ
まに大変ご心配をいただきました
が、来年度より、順次工事を進め
てまいります。合併特例債の期限
であります平成30年度までに完了
させる計画で、安心・安全な下呂
市づくりを進めます。

下呂市の人口は、あくまでも推
計ではありますが、24年後の平成52
年には、2万3千人になると見込
まれています。そうした状況に
なっても、地域コミュニティが
堅持され、下呂市が一自治体とし
て存続し続けるための戦略が必要
となってまいります。このため昨
年から、「まち・ひと・しごと創

生総合戦略」の策定に全力で取
り組んでいます。

下呂市まち・ひと・しごと創
生総合戦略推進委員会において、
「しごとをつくる、下呂市に呼び
込む、若者を支援する、まちを育
てまちをつなぐ」を4本の柱とし
て、具体的な取り組みについて検
討されています。この計画は、平
成31年度までとなっていますが、
地方創生は短期間で成し得るもの
ではありません。来年度予算で対
応する施策、中・長期的に対応す
る施策を下呂市版総合戦略とし
て、3月には策定作業を終え、市
民の皆さまに公表することとして
います。

平成28年度は、下呂市発足よ
り12年が経過し、地方創生元年
という節目を迎えます。人口減
少という現実をしつかりと見据
え、住みたい下呂市、住みよい
下呂市づくりを進めてまいりま
す。皆さまのご理解とご協力を
お願い申し上げます。

本年が皆さまにとって幸多い一
年になりますことを祈念し、新年
のごあいさついたします。

開かれた身近な

議会をめざして

下呂市議会議長 中島 博隆



明けましておめでとうございませす。

市民の皆さまにおかれましては、心も新たに希望に満ちた初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

下呂市議会は、今年4月に実施されます下呂市議会議員選挙より議員定数を2人削減し14人となります。市民の皆さまと議会との距離が広がることのないよう、市民に開かれた身近な議会を目指して活動をしてまいります。

さて、今日の社会は急速な「少子・高齢化社会」の進行に加え、これまで経験したことのない「人口減少社会」に突入しており、下呂市においても合併から12年で約5千人が減少し、高齢化率も約36・8%となり、地域経済や地域社会の動向など、どの局面を見ましても厳しく多くの課題を抱えている現状となっております。

こうした中、政府においては「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、地方の創生を重要課題として取り組むこととされましたが、今、直面している少子高齢化、人口減少という課題に対して、各

地域がそれぞれの特徴を活かし、住んで良かったと思える安心・安全で持続的な地域社会の実現を目指していかねばなりません。

下呂市においても、人口減少、庁舎・振興事務所の整備、地域経済の活性化、財政健全化、環境対策、教育や福祉・医療の充実など課題が多岐にわたっています。議会としましても、このような課題を見据え、「住んで安心で楽しい下呂市」「おもてなしの心で笑顔の絶えない下呂市」を実感できるように、行政はもとより市民の皆さまと協働による「まちづくり」に全力で取り組んでまいります。

本年も、皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、下呂市の発展と市民の皆さまにとって飛躍の年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。